

1 実施期間

令和元年12月2日（月）～12月9日（月）

2 対象者及び回収率

- ・教員の自己評価 一教職員 42名：回答者 41名（回収率 97.6%）
- ・保護者アンケートー保護者 60名：回答者 56名（回収率 93.3%）
- ・生徒アンケートー中学部 7名、高等部 16名：回答者 22名（回収率 95.7%）

3 教職員の自己評価結果

(1) 概要

教員の自己評価の集計結果について、質問項目 16 項目における「そう思う」「だいたいそう思う」を合わせた「肯定的評価」の割合を以下に示します。

大項目（小項目数）	100～90%項目数	89～80%項目数	79～70%項目数	70%未満項目数
学習指導（5）	5項目	—	—	—
健康・安全（5）	5項目	—	—	—
開かれた学校（2）	2項目	—	—	—
P T A活動（1）	1項目	—	—	—
その他（2）	2項目	—	—	—
満足度（1）	1項目	—	—	—
合計項目数	16項目	0項目	0項目	0項目

全ての項目において、肯定的評価が 92%以上となり、学校及び自分自身の教育活動を積極的・肯定的に捉えている姿勢が鮮明になりました。中でも次の 9 項目は肯定的評価が 100%となっています。

		質問内容
学習指導	Q1	私たちは、子どもたち一人ひとりに適切な指導・支援を行っていますか。
	Q2	私たちは、教育目標（児童生徒一人一人の可能性を伸ばし、心豊かで主体的に生きる人を育成する）の達成に向け、全員が協力して教育活動を行っていますか。
	Q3	私たちは、子どもたちの成長に応じた教育内容と指導を行っていますか。
健康・安全	Q6	私たちは、基本的な生活習慣や挨拶などのマナー、生活の技能を身に付ける学習を家庭と協力して行っていますか。
	Q8	私たちは、校舎内外において、安全に配慮した教育活動を行っていますか。
	Q9	私たちは、保護者と連携しながら、子どもたちの健康増進・疾病予防に努めていますか。
	Q10	私たちは、いじめの問題が起こらないように取り組んでいますか。
た開 学か 校れ	Q11	私たちは、連絡帳・学部通信・学級通信等の、学習における記録を通じて家庭との連携や共通理解を図っていますか。
満足度	Q16	あなたは、本校が働きがいのある職場だと思いますか。

また、これら質問項目の中で肯定的評価が最も低かったものは以下の問いです。

大項目「開かれた学校」の Q12「私たちは、校報・ホームページ等を利用し地域に発信する取り組みを行っていますか。」（肯定的評価 92.7%、「あまり思わない」 7.3%）でした。

(2) 自由記述から

自由記述に書かれた主な内容は、以下のとおりです。

- ・開校初年度にあたり、一人一人が、児童生徒がたのしく学べる学校となるべく、教師集団として行動していると思う。
- ・新設校のため校務分掌の業務も多く教材研究等を行う時間が足りない。仕事の配分の仕方について検討したり、必要のない業務については即刻廃止してほしい（多忙化解消）。
- ・新設校ということで、色々な環境、設備、ルールなど整わない中でしたが、職員で協力しあって、業務を進めてこれたと思います。
- ・行事、会議などが少なく学級、業務にかけられる時間が確保されていた。次年度以降、行事や会議も増えると思うが、日々の業務に力をかけられる時間を残していただけたいなと感じている。
- ・施設設備（特にトイレ）が児童生徒の実態に合っていない。早急に改善できるように県へのはたらきかけをお願いしたい。
- ・予算等の課題はあるが、教育環境の整備（安全対策、備品、図書室内の整備等）を今後も継続して行っていけるとよい。
- ・電子黒板や視線入力などのICT機器も今後整えていただきたいです。

4 保護者アンケート結果

(1) 概要

保護者のアンケートの集計結果について、質問項目 15 項目における「そう思う」「だいたいそう思う」を合わせた「肯定的評価」の割合を以下に示します。

大項目（小項目数）	100～90%項目数	89～80%項目数	79～70%項目数	70%未満項目数
学習指導（5）	1項目	4項目	—	—
健康・安全（5）	—	3項目	1項目	1項目
開かれた学校（2）	1項目	—	—	1項目
P T A活動（1）	—	1項目	—	—
その他（1）	—	—	1項目	—
満足度（1）	—	1項目	—	—
合計項目数	2項目	9項目	2項目	2項目

「肯定的評価」が 90%以上の項目が 2 項目、80%以上 90%未満の項目が 9 項目となった。特に「肯定的評価」が高かった 2 項目は以下のとおりです。

質問内容		
学習指導	Q1	学校は、子どもたち一人ひとりに適切な指導・支援を行っていますか。
開かれた学校	Q11	私たちは、連絡帳・学部通信・学級通信等の、学習における記録を通じて家庭との連携や共通理解を図っていますか。

「肯定的評価」が 80%未満の項目は、Q 7 と Q14 の 2 項目でした。また、70%未満の項目は Q10 と Q12 の 2 項目でしたが、分からないと回答した保護者が 13～15 名いたことにより、「肯定的評価」の割合が低くなりました。

質問内容		
健康・安全	Q 7	学校は、自然災害、火災や事故等に対応した安全指導を適切に行っていますか。
	Q10	学校は、いじめ問題が起こらないように取り組んでいますか。
開かれた学校	Q12	学校は、校報・ホームページ等を利用し、地域に発進する取組を行っていますか。
その他	Q14	学校は、教育環境の整備に努めていますか。

(2) 自由記述から

自由記述に寄せられた主な内容は、以下のとおりです。20名の保護者の方からご意見を寄せていただきました。内容が似たものや個人的な指摘については、合わせたり、省略しております。

- ・狭くても良いので校内（体育館）ではなく、外のグラウンドを整備し、運動できるようにしてほしい。同様にプールに関しても整備できないのなら、ふれあいランドのプール（空いていないなどの理由も分かりますが…）週2位、広いプールで泳ぐという経験させてあげたいです。
- ・入学前の説明会と実際入学してからの設備等をみてあまりに違いすぎて、残念に思うことが多いです。
- ・早く自校給食をはじめられるようにしてほしい。冷たい給食でおいしくなくて、かわいそう。
- ・開校したばかりなので少しずつ運動会などの行事をしてほしいです。
- ・来年度は、運動会や学習発表会等の行事で子供の頑張っている姿を見たいです。
- ・部活など、指導員をまねいて、活動できないかと思えます。
- ・お陰様で楽しく学び、日々成長させていただき感謝しております。
- ・子供の症状に応じてさまざまな工夫をしてくださり、指導も丁寧でとても感謝しております。ありがとうございました。
- ・週に1～2回でも良いので、個別学習やグループ学習の時間（言語や作業など）があると良いと思います。
- ・みただけ支援と比較することは不適切であることは理解していますが、個々の子どもたちにあった指導になっているようには思えないので、もう少し考えていただき、学校と家庭が補完関係になるようなことを目指していただきたい。
- ・学校での情報が少なかったり、共有していない感じがある。
- ・授業を自由に見学できる機会があるといいです。学校行こう週間の見学は保護者も対象にしていただけなら嬉しいです。みただけの時は、保護者の見学もOKだったので。
- ・長期休暇の前に学級懇談会を開いてはどうでしょうか？
- ・給食の「こんだて」が大きく見やすく、良いと思いました。「ほけんだより」が、中身がとても役立つ（子供にも親にも）内容が充実していてとても良いと思いました。（読んで終わりではなく保存しておいて役立てたくなる。）

5 生徒アンケート結果

(1) 中学部生徒アンケート結果の概要

中学部生徒の障がいの特性及び分母数の少なさ(7名)で明確な傾向をつかむことはできませんでしたが、「いいえ」を選んだ生徒は一人もいなかったという点は肯定的に捉えることができます。

		はい	いいえ	わからないから	無回答
Q1	学校（がっこう）は、たのしいですか。	4	0	3	0
Q2	学校（がっこう）の行事（ぎょうじ）〔宿泊学習（しゅくはくがくしゅう）、校外学習（こうがいがくしゅう）など〕は楽（たの）しいですか。	4	0	3	0
Q3	学校（がっこう）にはやりたい勉強（べんきょう）や活動（かつどう）がありますか。	4	0	3	0
Q4	新（あたらしい）学校（がっこう）は使（つか）いやすいですか。	4	0	3	0
Q5	先生（せんせい）の話（はなし）はわかりますか。	4	0	3	0
Q6	先生（せんせい）はあなたの話（はなし）や意見（いけん）をよく聞（き）いてくれますか。	3	0	4	0
Q7	先生（せんせい）はあなたが頑張（がんば）ったことを認（みと）めてくれますか。	4	0	3	0

Q8	地震(じしん)や火事(かじ)のときはどうしたらいいかわかりますか。	4	0	3	0
----	-----------------------------------	---	---	---	---

また、自由記述については、以下のとおりでした。

Q9 あなたが困ったときに、学校で誰に相談しますか。

- ・ T先生、H先生、M先生

Q10 意見、要望、お願いしたいことなどがありましたら書いてください。

(なし)

(2) 高等部アンケート結果の概要

回答は、欠席の生徒が1名いたことから高等部の生徒16名中15名からの回答となります。

アンケートの結果から、高等部の生徒は、学校施設・設備、教育課程等への満足度が高い傾向にあることが分かりました。しかし、日常とは異なる行事等への対応に負担を感じる生徒もおり、自己肯定感、達成感を得るまでには至らず、相対的に学校への満足度が低い傾向がうかがえます。

一方、困った時には、基本的に先生に相談するという生徒が多いことが分かりました。

		はい	いいえ	わからないから	無回答
Q1	学校(がっこう)は、たのしいですか。	8(53)	5(33)	2(13)	0
Q2	学校(がっこう)の行事(ぎょうじ)〔宿泊学習(しゅくはくがくしゅう)、校外学習(こうがいがくしゅう)など〕は楽(たの)しいですか。	9(60)	3(20)	3(20)	0
Q3	学校(がっこう)にはやりたい勉強(べんきょう)や活動(かつどう)がありますか。	12(80)	3(20)	0	0
Q4	新(あたらしい)学校(がっこう)は使(つか)いやすいですか。	12(80)	2(13)	1(7)	0
Q5	先生(せんせい)の話(はなし)はわかりますか。	12(80)	0	3(20)	0
Q6	先生(せんせい)はあなたの話(はなし)や意見(いけん)をよく聞(き)いてくれますか。	10(67)	1(7)	4(27)	0
Q7	先生(せんせい)はあなたが頑張(がんば)ったことを認(みと)めてくれますか。	9(60)	1(7)	5(33)	0
Q8	地震(じしん)や火事(かじ)のときはどうしたらいいかわかりますか。	14(93)	0	1(7)	0

※ () 内は、%を表す。

自由記述については、以下のとおりでした。

Q9 あなたが困ったときに、学校で誰に相談しますか。

- ・ 先生や友だち
- ・ 担任
- ・ 高等部の先生に相談しています。
- ・ 誰にも相談しません。
- ・ 母や先生です。
- ・ 先生や親

Q10 意見、要望、お願いしたいことなどがありましたら書いてください。

- ・ スマホとどけたくない
- ・ 各クラスでうるさい人がいるので静かにしてほしいです。
- ・ 僕のケータイが必ず帰って来てほしいです。

6 評議員会（2月5日実施）より

A 評議員より、学校評価に関して次のような意見が出されました。

「学校評価では教員の自己評価が高く出ているのが喜ばしいところである。新しい学校で生み出していく大変さもあると思うが、モチベーションを高く持って取り組んでいくことは大切である。働き方改革と言われているが、先生方のやる気が相乗効果を生むように頑張ってもらいたい。」

7 考察及びまとめ（改善の方向性）

(1) 教職員の自己評価から

全ての項目で「肯定的評価」の割合が高かったです。これは自由記述の中にもあるように開校1年目の学校として、教職員が力を合わせて学校づくりを進めてきたためと考えられます。

しかし、来年度に向けて、業務量の増加への懸念や今年度も開校にかかわり通常とは違う業務から負担を感じている教職員もおり、開校2年目に向けて業務の精選・効率化、計画的な実行など全教職員で知恵を出し合い、実効性のあるものにしていく必要があると考えます。

また、自由記述にもあったように、施設・設備の整備について、安全面や児童生徒の指導にかかわるものについては、早急に改善・整備に向けて取り組んでいきたいと考えています。

(2) 保護者アンケート結果から

学校経営計画の達成指標（別紙資料）について、保護者アンケートの結果から今年度の重点目標の達成指標ア～オの中の、4項目について達成することができました。達成できなかった項目については、「オ 復興教育と安全教育を推進し、…」で保護者アンケートの「Q7 学校は、自然災害、火災や事項等に…」にあたります。「いわて県民計画のアクションプラン」（別紙資料）の具体的推進方策指標により、「概ね達成できた」と捉えることができます。

保護者アンケート結果から本校の学習指導について見ると、肯定的な評価が高かったと捉えています。教職員一人一人が児童生徒に真摯に向き合い指導を行い、授業づくりを行ってきたからだと考えています。しかし、自由記述の中から、情報共有の不足、個別指導や外部資源の活用、学校と家庭が補完するような関係を築くことなどの指摘もありました。これらについては、よりよい指導への期待と捉え改善していきたいと考えています。

施設・設備の改善・整備については、上記の「(1)教職員の自己評価」にあるとおり、保護者の皆様と協力して取り組んでいきたいと考えています。

保護者の学校参観については、いつでも授業を見ていただき、学校をより身近なものと感じていただければと思います。学校へ行こう週間について、来年度は、保護者や地域の方にも参観できるように検討しています。

(3) 生徒アンケート結果から

「5 生徒アンケート結果」に同じ。

(4) まとめ

教員の自己評価及び保護者アンケート結果から学校の教育活動で不足していることや方向性について点検する良い機会となりました。

また、アンケートの回答結果を見ると、保護者の皆様から「分からない」と回答されている項目が多くありました。このことは学校からの情報発信が不足していたからだと考えられます。今後、機会を捉えて学校の教育活動や取り組みにかかわる情報を提供していき、本校の教育活動への理解を図りたいと思います。

併せて、教員と保護者の皆様には、今後も改善に向けた忌憚のないご意見やアイデアなどを提供していただくことをお願いするとともに、風通しの良い学校環境をつくっていきたいと思います。